

## 平成 26 年度第 4 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 26 年 9 月 6 日（土） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども会議委員 16 名（欠席者 15 名）  
平成 26 年度青森市子どもサポーター2 名（欠席者 1 名）  
事務局 4 名
- 4 活動内容 ・「子どもの権利条例」の普及啓発活動（子どもの権利の日のイベント）について  
の話し合い  
・夏休み開催の活動のまとめ作業等
- 5 開催概要

第 4 回の活動では、まず、「子どもの権利条例」の普及啓発や子ども会議委員による市政に対する意見表明を行なうために、今年 11 月 1 日（土）に開催を予定している、「子どもの権利の日」のイベントで、どのようなことを行うかなどについて話し合いを行ないました。

まず始めに、イベントのタイトルについて案を出し合い、みんなで決めることにしました。

タイトル案を出してもらったところ、

### ①「見つけ出そう！自分たちの居場所を ～ありのままの自分たちを～」

### ②「発見しよう 自分たちの権利を」

の 2 つ案が出されました。多数決をとり、①のタイトル案に決まりかけた時に、委員の 1 人から、

### ③「FOR CHILDREN ～子どもにできること～」

という 3 つめの案が出されました。

再度、多数決をとったところ、ほぼ、満場一致で③のタイトル案に決定しました。

次に、イベントで市に対する意見表明や子どもの権利に関する普及啓発を行うにあたり、どのようなことをやるかなどのプログラムについて、タイトルと同様に案を出し合い、みんなで決めることにしました。

委員からは

- ・子どもの権利条例や子どもの権利の保障に関するテーマソングを作り、子ども会議委員みんなで歌う。
- ・子どもの権利の侵害に関する劇とクイズを一緒に行なう。
- ・LET IT GO の替え歌（子どもの権利バージョン）を作り、子ども会議委員みんなで歌う。
- ・ミュージカル（子どもの権利バージョン）を行う。

など、様々な意見がでました。



テーマソングは誰が作るの？とか、勝手に LET IT GO 替え歌を作ってイベントの場で歌うのはちょっとやばくない？大丈夫？」などと話し合いながら、開会から一つ一つ順番にプログラムを決めていったところ、

- 開会
- 市長あいさつ
- 来賓者あいさつ（議長等）
- 子どもにやさしいまちづくりに向けた私たちからの提案（市に対する意見表明）
- 子どもの権利に関する劇と意見交換（劇中に来場者にクイズを実施）
- 市長からの感想
- 閉会

というながれで、イベントを行なうことに決めました。

大まかなプログラムが決まったことで、今後はイベントの開催に向けた準備を行なっていくこととなります。具体的には、

- ①開催チラシ・ポスター、会場看板などのデザインの考案
- ②普及啓発に関する作品の作成（ポスター・新聞・チラシなど）

等を行なう「**作品作成班**」と、

- ①プログラムの具体内容検討、シナリオ作成
- ②イベント当日の司会進行

等を行なう「**企画運営班**」の2つのグループ

に分かれて準備を進めることに決め、子ども会議委員それぞれが希望するグループに分かれました。早速、それぞれのグループにおいて、準備に向けた話し合いを行ないました。



### **作品作成班の活動**

市内各小・中・高等学校等に配布予定としている「開催チラシ」のデザインについての考案・話し合いを行ないました。

昨年は「虹」を前面に出したデザインだったのを踏まえ、今年は、「子どもの権利」の普及啓発を頭に入れながら、「シャボン玉」と「花」をキーワードにデザインしようということに決まり、次の開催までにそれぞれが、デザイン案を作り、それを持ち寄って「開催チラシ」のデザインを決めようということになりました。

### **企画運営班の活動**

「企画運営班」では、まず、話し合いでこの班が行なう役割を整理していました。その結果、さらに、「進行担当」と「劇担当」に分かれて準備を進めることになりました。

その後、「進行担当」では、イベントでの「司会者」、「コンダクター」等を誰がやるのか役割を決め、進行シナリオについての話し合いを行ないました。



また、「劇担当」では、どのような劇を行なうかなどについて話し合いを行ないました。

以上で第4回の活動を終了しました。

次回は、引き続き、イベント準備活動や夏休み期間中に行った身の回りで興味のあることについての活動のまとめ等を行う予定です。

なお、この日の子ども会議の全体活動は終了しましたが、身の回りで興味のあることについての活動で「まちづくり」をテーマにしたグループ「2代目マーチハンターズ」メンバーは、その場に残り、小・中・高等学校の各2校ずつにお願いした「アンケート調査」について、集計作業を行ってからその日の活動を終了しました。